

試合番号 : 236	試合会場 : ウイングアリーナ刈谷	観客数 : 1,012	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:26	試合時間 : 01:26	
主審 : 城 智人	副審 : 澤 達大		
ジェイテクトSTINGS 通算 17勝 9敗 ポイント : 48		23 第1セット 25 21 第2セット 25 23 第3セット 25 第4セット 第5セット	FC東京 通算 8勝 19敗 ポイント : 29
監督コメント	0	3	昨日の敗戦から気持ちを切り替え、また戦術的にもしっかりと修正をし、非常に厳しいゲームを乗り越えてくれたことを誇りに思います。今週末、素晴らしい環境の中で試合ができたことに感謝いたします。来週のホームゲームに向けて、チームで一致団結して勝利を目指します。本日も応援ありがとうございます。
要約レポート	7連勝中の4位ジェイテクトSTINGSと現在8位のFC東京の一戦はストレートでFC東京が勝利した。この試合、FC東京に12本のブロックが出たのが大きかった。第1セット、ジェイテクトは序盤にフェリペのサーブでFC東京を崩し、連続得点。前日の流れのまま進むかと思われたが、FC東京は手原の連続ブロックや、迫田のブロック・サービスエースを含む得点で中盤に3点をリードする。このまま終盤までサイドアウトを繰り返す展開となり、リードを守ったFC東京がセットを奪った。第2セット、FC東京はスタートからプレモビッチの攻撃と連続ブロックでリードする。ファーストテクニカルタイムアウトはFC東京が取ったものの、その後はジェイテクトが福山・西田のブロックで4点差をつける。終盤はFC東京のブロックが冴えた。佐藤の2本を含むチーム5本のブロックポイントで、セットを連取した。第3セット、後の無いジェイテクトはセッターに小林を起用。プレモビッチにトスを集めるFC東京に対してリードを奪われる場面もあったが、西田の体を張った繋ぎのプレーにチームが奮起し逆転。しかし、終盤、FC東京は迫田の攻撃や、プレモビッチの2連続のサービスエースで逆転し、ストレートでの勝利となった。		

試合番号 : 237	試合会場 : 日本製鉄堺体育館	観客数 : 376	
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:23	試合時間 : 02:23	
主審 : 山本 和良	副審 : 村中 伸		
堺ブレイザーズ 通算 15勝 13敗 ポイント : 43		19 第1セット 25 23 第2セット 25 25 第3セット 21 25 第4セット 23 16 第5セット 14	東レアローズ 通算 13勝 12敗 ポイント : 36
監督コメント	3	2	今日の試合も、フルセットと戦いとなりました。堺ブレイザーズのブロックフォロワーがすばらしく何本も決まったと思われる場面があり素晴らしい粘りでした。我々も見習わなければいけないと思いました。終盤戦に入り選手が出て疲れが出てきているので、コンディションをしっかり作っていききたいと思います。2日間、たくさんの応援ありがとうございます。
要約レポート	現在レギュラークラウド5位の堺ブレイザーズと昨日の結果で6位に上がった東レアローズの戦いは3-2で堺が勝利した。第1セット、東レはキャプテン星野のキレのある攻撃で3点をリードすると、その点差を維持したままゲームが進み、後半にはセッター藤井のツーアタックと高橋のブロックで点差を広げセットを先取した。第2セット、堺はスタートからジョンに代えて千々木を投入すると、バックアタックとブロックで大活躍。21-21まで互いに譲らない展開となったが、東レは、後半に入った幸の攻撃とバダルとブロックで抜け出し、セットを連取した。第3セット、後の無い堺はこのセットから起用した鶴野がコート内のムードを変え、攻撃でもアタックとサービスエースで奮闘し、セットを奪い返した。第4セット、堺は序盤に関田のブロックが2本決まって完全に息を吹き返し、5点をリードして2回目のテクニカルタイムアウトを迎える。一方、東レは富田の技ありの攻撃などで、同点に追いつくが、堺の勢いは止まらず、このセットも奪いフルセットに持ち込んだ。第5セット、14-14まで気の抜けない素晴らしいゲーム内容となり、最後は堺の千々木と鶴野の攻撃が決まり、ホームゲームを勝利で飾った。		

試合番号 : 238	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 697	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:07	試合時間 : 02:07	
主審 : 林 淳一	副審 : 服部 篤史		
パナソニックパンサーズ 通算 22勝 6敗 ポイント : 64		25 第1セット 15 20 第2セット 25 20 第3セット 25 25 第4セット 14 15 第5セット 13	VC長野トライデンツ 通算 3勝 25敗 ポイント : 13
監督コメント	3	2	今日VC長野は、ディフェンスが非常に良く、いいプレーをしておりました。第1セットはほとんど完璧なセットでしたが、その後のセットはいい勝負だった。チームで取った勝利で本当に嬉しいです。来週も応援よろしくお願いたします。
要約レポート	連勝してさらに勢いをつけたパナソニックパンサーズと1つでも多く白星がほしいVC長野トライデンツの一戦。第1セット、序盤から一進一退の攻防が続くが、パナソニックは山内のブロックと清水のサービスエースで連続得点し一気に点差を広げ、セットを先取する。第2セット、VC長野は池田(幸)がサービスエースやスパイクを要所に決める活躍を見せ、セットを奪い返す。VC長野は第3セットも第2セットのリズムのまま大きくリードを広げるが追い詰められたパナソニックは、代わって入った新がサーブで崩すと大竹がスパイクを決め詰め寄るが、最後はVC長野が突き放し、連取する。第4セット、後がないパナソニックは終盤試合の主導権を握り、セットをものにする。迎えた第5セット、終盤まで手に汗握る展開が続くが、最後はクビアクが強烈なスパイクを相手コートに叩き込み、フルセットの末パナソニックが勝利を取めた。		

試合番号 : 239	試合会場 : 鳥取県立米子産業体育館	観客数 : 1,000	
開始時間 : 13:05	終了時間 : 14:32	試合時間 : 01:27	
主審 : 原 啓之	副審 : 江下 毅		
JTサンダーズ広島 通算 12勝 16敗 ポイント : 38		23 第1セット 25 20 第2セット 25 22 第3セット 25 第4セット 第5セット	サントリーサンバーズ 通算 24勝 2敗 ポイント : 68
監督コメント	0	3	今日力のあるJT広島にストレートで勝利することが出来、サンバーズのブロック、ディフェンスが非常に機能して、レベルの高いパフォーマンスを発揮できたと思います。まだまだ後半戦において修正していかなければならないポイントがいくつかありますので、次週に向けてまた準備をしっかりしていきたいと思っております。米子へ観戦に来ていただいたファンの皆様、画面越しに応援いただいた皆様、サンバーズの今後の躍動を感じてください。サンバーズは今後も進化し続けていきます！
要約レポート	ホームゲームで連敗の悪い流れを打ち切りたいJTサンダーズ広島と、首位独走に持ち込みたいサントリーサンバーズの一戦。第1セット序盤、JT広島はセッター金子が坂下の速い攻撃を中心にゲームを組み立て、対するサントリーはセッター大宅の配球により多彩な攻撃で、終盤までサイドアウトを繰り返す接戦となる。JT広島はリリーフサーブで入った合田のサービスエースで流れを引き寄せる場面もあったが、サントリーは柳田とムセルスキーがアタックを決め、サントリーが先取した。第2セット、JT広島は藤とエドガーの攻撃で得点を取るが、サントリーは塩田と小野のクイックで得点を取り、少しずつリードした。終盤、JT広島も途中から入った八子がアタックを決めて盛り返すが得点を詰めることが出来ず、サントリーが連取した。第3セット、序盤からサントリーはリベロ鶴田の堅い守備から速い攻撃で一歩リードする。それに対してJT広島はレシーブで粘り、小野寺とエドガーの攻撃とブロックで同点まで追いついた。しかし、サントリーはムセルスキーのサービスエースと強烈なアタックで相手を引き離し、サントリーが連勝を伸ばした。		

試合番号 : 240		試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)				観客数 : 685			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:21		試合時間 : 01:21		主審 : 木内 誠二		副審 : 平田 敬基	
大分三好ヴァイセアドラー		通算 2勝 26敗 ポイント: 9		20 第1セット 25		ウルフドッグス名古屋		通算 19勝 7敗 ポイント: 57	
監督コメント 何とか良い展開を作り接戦に持ち込みたかったが、中盤以降サーブレスが崩れ攻撃が単調になり、一方的なゲームとなってしまい、非常に悔しいです。上位との戦いが続きますが、気持ちをしっかりと作り戦っていきたく思います。本日ホームゲームでの応援ありがとうございます。	0	13 第2セット 25		3	昨日の試合で出た我々の課題を確認し合って挑んだ試合でしたが、相手チームも昨日とは違ったプレーをしてきた為大変激しい試合となりました。またコミュニケーションをより良くする事で、更にレベルアップする事ができると確信できた試合であったと思います。これからも目の前にある1つ1つの仕事を行うことに意識を集中させて、成長し続けたいと思います。我々ウルフドッグス名古屋を世界中から応援して下さいの皆さま、心より感謝申し上げます。皆さまの「健康」と「安心・安全である生活」を祈っております。Best Day Ever!				
		19 第3セット 25							
		第4セット							
		第5セット							
		要約レポート 昨日のストレート負けの雪辱を果たしたい大分三好ヴァイセアドラーは、連勝で上位に踏み留まりたいウルフドッグス名古屋をホームに迎える対戦。第1セット、WD名古屋はクレク、高梨を中心に攻撃を展開し、順調に得点を重ねる。一方、大分三好はストックトン、山田などを軸に攻撃を組み立てる。終盤、ストックトンのサービスエースなどで食らいつくも、要所でWD名古屋が得点を積み重ね、25-20でWD名古屋が制する。第2セット、反撃に出たい大分三好だったが、WD名古屋のクレク、高梨の攻撃を止めることが出来ず、大きな点差を付けられる。流れを変えたい大分三好は、バグナスに代えて米田を投入するも、ミスが止めることが出来ず、25-13と大差でWD名古屋が連取。第3セット、一矢報いたい大分三好だったが、スパイクでミスを連発する厳しい立ち上がり。WD名古屋は、セッター前田の的を絞らせない配球で、優勢に試合を進める。ここで大分三好は、ストックトンに代えて古賀を起用、8得点をあげて躍動するも、開いた点差を埋めるには至らず、25-19でWD名古屋が第3セットを制した。試合はWD名古屋が2戦連続でストレート勝ちを収め、大分三好は課題の残る黒星となった。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント: -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント: -					
監督コメント	第2セット		監督コメント	第3セット					
	第4セット			第5セット					
	要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント: -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント: -					
監督コメント	第2セット		監督コメント	第3セット					
	第4セット			第5セット					
	要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント: -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント: -					
監督コメント	第2セット		監督コメント	第3セット					
	第4セット			第5セット					
	要約レポート								